

報告 1

平成 30(2018)年度地方教育行政功労者表彰及び教育者表彰（文部科学大臣表彰）について

このことについて、本県から下記の者が受賞しましたので、報告いたします。

1 地方教育行政功労者表彰について

「地方教育行政功労者表彰」は、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資することを目的とするものです。

なお、表彰式は平成 30(2018)年 10 月 12 日（金）12 時 20 分より文部科学省講堂において行われました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏 名	略 歴 (期 間)	主 な 功 績
まえだ ひろし 前田 博	日光市教育委員会教育長 (H22. 5. 13～H30. 5. 12)	8 年間に渡り教育長として教育委員会の発展及び円滑な運営に尽力した。主体的に未来を切り開く児童生徒を育てることを目標に、小中連携一貫教育を推進し、積極的に学校訪問をするなどして、強いリーダーシップをもって、学校教育の発展に寄与した。
ひらつか しょういちろう 平塚 正一郎	那珂川町教育委員会委員 (H17. 11. 29～H29. 11. 28) 那珂川町教育委員会委員長 (H21. 11. 30～H27. 9. 30)	教育委員として 3 期 12 年間、そのうち委員長を 5 年 10 ヶ月にわたり務め、町の教育振興、充実、発展のため献身的に尽力した。少子化が進む中、小中学校の適正配置による統廃合を実現するとともに、教育施設の整備と充実を図る取り組みを推進した。

2 教育者表彰について

「教育者表彰」は、学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、これを表彰することを目的とするものです。

なお、表彰式は平成30(2018)年11月30日(金)12時20分より文部科学省講堂において行われました。

○ 被表彰者及び主な功績

氏 名 (職 名)	略 歴 及 び 主 な 功 績
おおはし よしき 大橋 芳樹 (栃木県立栃木高等学校長)	公立学校に21年6ヶ月間、県教育委員会に14年間勤務する。 これまでの教育実践や教育行政での経験を生かした卓越した指導力と誠実な人柄で、次代を担うリーダーに相応しい資質・能力を生徒に身に付けさせるための学校経営を展開した。
こいけ まさみ 小池 正巳 (宇都宮市立姿川中学校長)	公立学校に27年6ヶ月間、県教育委員会に9年間勤務する。 生徒一人一人のよさを全教職員が共有し、それを発揮し合える学校づくりを目指すとともに、保護者や地域の協力を得ながら、生徒の豊かな心を育む教育環境整備にも努めた。
ふくだ じゅんいち 福田 順一 (宇都宮市立錦小学校長)	公立学校に28年6ヶ月間、市教育委員会に7年間、県教育委員会に2年間勤務する。 深い児童理解の下、基本的な生活習慣や規範意識の醸成、意欲的な学習態度の育成を図るための取組を推進し、児童が落ち着いて学ぶことができる学校づくりに尽力した。